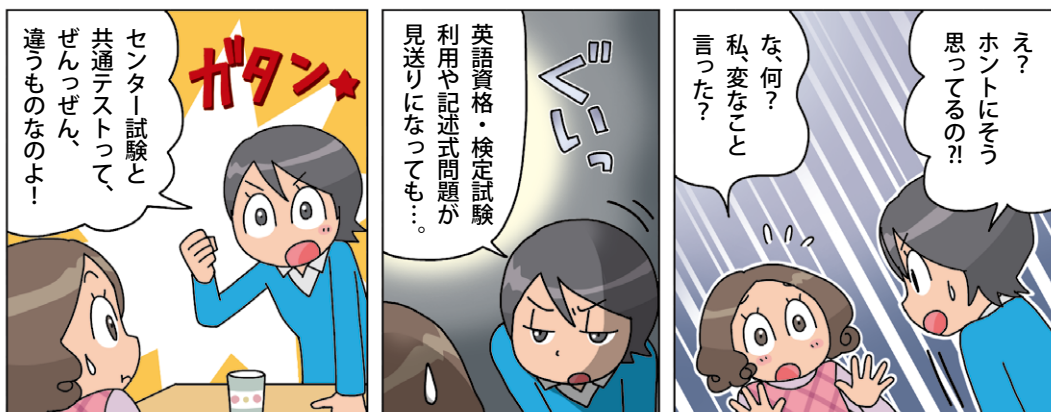
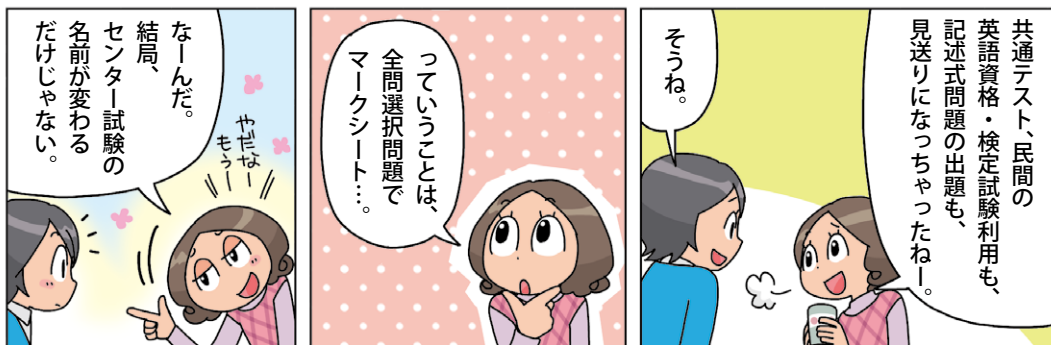


どうなる?!

記述式問題(国語・数学)出題見送り

大学入学共通テスト!!

2020年度
実施大学入試の種類と、
合格・入学までの流れ

国公立大学

私立大学

大学入学共通テスト

- 志望する大学・学部に応じて受験教科・科目を選択する。
※英語資格・検定試験の利用と、国語・数学の一部に記述式問題を出題することは延期。

個別試験
(2次試験)

- 大学・学部ごとに実施される。
- 共通テストの成績による出願条件が設定される場合がある。

共通テスト
利用(併用)入試

- 共通テストの成績のみで合否が判定される場合もある(利用)。
- 個別試験が実施されたり(併用)、英語の民間試験資格の成績提出を求められることがある。
- 共通テストの成績による出願条件が設定される場合がある。

一般入試

- 各大学・学部が個別に実施する。
- 同じ大学・学部でも、試験日、試験科目などの違いで複数回の受験が可能なケースや、1回の受験で複数の学部・学科を志望できるケース(「全学部入試」など)などがある。

- 個別試験で記述式問題が出題されることがある。
- 英語資格・検定試験の成績を利用できることがある。

合格・入学

※上記のほかには学校推薦型選抜(従来の推薦入試)、総合型選抜(従来のAO入試)の制度がある。
これらの選抜においても学力を必ず評価するため、大学・学部によっては共通テストの受験が必須の場合がある。



59005031-2001-TAA

どうなる？

大学入学共通テストは 結局同じ？

大学入学 共通テスト
2021年1月から実施

見送り

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」
習得している知識や技能の量に加え、それらを用いて考えたり、判断したりすることができる力が問われる。
文章・数式等の記述式問題で、表現力を評価する予定だったが、見送りとなった。

大学入学 センター試験
2020年1月まで実施

「知識・技能」
思考力・判断力を問う問題も出題されていたが、どれだけ多くの知識や技能を習得できているかを問う問題が中心。

今回の変更で
共通テストは大きく変わる？

2021年1月から実施される大学入学共通テスト(共通テスト)に関して、「英語資格・検定試験の利用」「国語と数学の一部で記述式問題の出題」の2つを見送ることが発表されました。

このことについて「結局、2020年度までの大学入試センター試験(センター試験)と大差ない試験になるのではないかととらえる方もいるようです。中には「これまでの英語4技能や記述式問題を前提とした準備が無駄になっってしまった」といった声もあるようです。

上の表はセンター試験と共通テストの特徴をまとめたものです。「英語資格・検定試験の利用」「記述式問題の出題」という2本の柱は見送りになったものの、引き続き対策には注意が必要ながわかります。

押さえておくべきポイントは、これまで「知識・技能」中心だった評価の軸足を、「思考力・判断力・表現力」も含めたものにするという、共通テストの出題の質の変化の部分です。

例えば文章量の増加や情報の読み取り、複数の資料を関連付けて考える問題等はセンター試験にはなかった特徴で、引き続き難化が予想されます。

また英語の共通テストについては、2技能とはいえず、変更点は多岐にわたり、リーディング、リスニングとも対策は不可欠です。(左表参照)

2次試験や一般入試も見据え 冷静な準備を

国公立大学の個別試験(2次試験)や、私立大学の一般入試などでは、記述式問題が出題される大学・学部は数多くあります。また、英語資格・検定試験を利用できる仕組みも、約3割の私立大学が一般入試で導入しています。

今回の見送りの内容を正しくとらえ、大学入試制度全体を見た準備を行うっていくことが大切です。

試験時間	出題科目	英語	実質問題のページ数	解答方法	求められる力																
国語：100分 ↓ 検討中 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A：70分 ↓ 検討中 英語：リーディング80分、リスニング60分 その他：1科目60分(基礎理科は2科目で60分) ※今後変更の可能性あり。	センター試験と変更なし 検討中	英語の4技能(読む・聞く・書く・話す)をバランスよく評価することをめざす「共通テスト」 リーディング問題とリスニング問題の配点比は1:1。 市民間の資格試験の利用 見送り ライティング、スピーキングも含めた4技能をバランスよく評価するために民間の資格試験を利用する予定だったが延期となった。 ※ただし、大学ごとの個別試験(2次試験)では利用できる大学・学部もある。	2018年度試行調査 <table border="1"> <tr> <td>国語</td> <td>45ページ</td> </tr> <tr> <td>数学Ⅰ・数学A</td> <td>26ページ*</td> </tr> <tr> <td>数学Ⅱ・数学B</td> <td>25ページ*</td> </tr> <tr> <td>世界史B</td> <td>31ページ</td> </tr> <tr> <td>現代社会</td> <td>44ページ</td> </tr> <tr> <td>地学</td> <td>30ページ</td> </tr> <tr> <td>化学基礎</td> <td>14ページ</td> </tr> <tr> <td>英語(リスニング)</td> <td>21ページ</td> </tr> </table> 問題の長文化、図表やグラフなどの資料を読み取って答える問題も多い。	国語	45ページ	数学Ⅰ・数学A	26ページ*	数学Ⅱ・数学B	25ページ*	世界史B	31ページ	現代社会	44ページ	地学	30ページ	化学基礎	14ページ	英語(リスニング)	21ページ	マークシート式問題 国語・数学の一部に記述式問題 見送り 国語で3問(最も長いもので80〜120文字程度)、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Aで3問(数式等)の記述式問題の出題が予定されていたが見送りとなった。	大学入学 共通テスト 2021年1月から実施
		国語	45ページ																		
数学Ⅰ・数学A	26ページ*																				
数学Ⅱ・数学B	25ページ*																				
世界史B	31ページ																				
現代社会	44ページ																				
地学	30ページ																				
化学基礎	14ページ																				
英語(リスニング)	21ページ																				
国語：80分 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A：60分 英語：筆記80分、リスニング60分 その他：1科目60分 (基礎理科は2科目で60分)		文法・長文読解が中心 筆記問題とリスニング問題の配点比は4:1。	2019年度センター試験 <table border="1"> <tr> <td>国語</td> <td>43ページ</td> </tr> <tr> <td>数学Ⅰ・数学A</td> <td>19ページ*</td> </tr> <tr> <td>数学Ⅱ・数学B</td> <td>14ページ*</td> </tr> <tr> <td>世界史B</td> <td>24ページ</td> </tr> <tr> <td>現代社会</td> <td>32ページ</td> </tr> <tr> <td>地学</td> <td>26ページ*</td> </tr> <tr> <td>化学基礎</td> <td>10ページ</td> </tr> <tr> <td>英語(リスニング)</td> <td>10ページ</td> </tr> </table> *選択問題あり	国語	43ページ	数学Ⅰ・数学A	19ページ*	数学Ⅱ・数学B	14ページ*	世界史B	24ページ	現代社会	32ページ	地学	26ページ*	化学基礎	10ページ	英語(リスニング)	10ページ	マークシート式問題	大学入学 センター試験 2020年1月まで実施
国語	43ページ																				
数学Ⅰ・数学A	19ページ*																				
数学Ⅱ・数学B	14ページ*																				
世界史B	24ページ																				
現代社会	32ページ																				
地学	26ページ*																				
化学基礎	10ページ																				
英語(リスニング)	10ページ																				

共通テストとセンター試験の英語の問題比較	
総語数	共通テスト 約5100語
発音、アクセント、語順整序	なし
リスニング	1回読みと2回読みが混在
素材文	日常的・身近な題材中心
総語数	センター試験 約4000語
発音、アクセント、語順整序	あり
リスニング	2回読み
素材文	説明文 物語文 論説等